

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第16号 2020. 6. 7 発行

緊急事態宣言解除！

縄文住居の作業も再び始動！！！！

八ヶ岳の長い冬の季節も終わり、縄文遺跡でもやっと活動を再開し始めた矢先での、緊急事態宣言発令。外出の自粛や都県を跨っての移動の自粛と、またまた作業の中断を余儀なくされてしまい、杉板の屋根張りもあと一歩という所での中断でどうなることやらと心配しました。作業の進捗を心配する以上に、長引く自粛生活で普段から活動的な皆さんはさぞかし“うずうず”していたのではないかと思います。山梨県だけでなく東京都も緊急事態宣言の解除となり、熊造園さんも梅之木遺跡に来られるようになって今月から再び縄文遺跡での作業が開始されました。今までの自粛生活を取り戻すかのように皆さん今まで以上に活動的です。基本的には屋外の作業なので密閉空間ではありませんが、力を合わせて共同作業を行う機会も多いと思いますので、感染対策としてマスク着用を必須としています。縄文遺跡に来られるときは、マスクを着用して参加されるようお願いします。

最期に残った頂上の周りにも杉板が貼られ、全体が覆い尽くされました



皆さん、マスク着用 ！
手よりも口数の方が多く人もいらっしやる
ようなので、やはりマスクは必需品です



◆ 防水シート張り

杉板を張った状態のままの方が縄文住居のイメージには合っているような気がしますが、縄文人たちが生活していく上では、風雨に耐えるものでなくてはならず、杉板の上から土を被せていたようです。住居の上を覆った土が冬の寒さや風が入り込むのを防ぎ、夏には暑さを凌ぐために土を落して風通しを良くして、自然素材による防寒・避暑対策を行っていたそうです。

われわれの縄文住居は杉板と土の間にビニールシートを敷いて耐久性を持たせることにしていましたが、杉板-垂木・横木-土の隙間にどのようにビニールシートを敷き詰めていくのか想像もできませんでした。しかし、作業開始たった半日で完了したのにはビックリ！！ その手順は以下の通り。



6Mx6Mの防水ビニールシート



一旦、垂木の上に広げます



屋根の形に合わせて余分な部分をカット



垂木・横木を持ち上げながら下から上へ
少しずつシートを引っ張り上げます





シートが重なる部分に接着剤を塗って貼り合わせます



張り合わせた箇所を上からさらにテープで密着させます



頂上部分も隙間のないよう
接着します



天頂部には開閉式の天蓋を設置する予定



全面がビニールシートで被われました



さすが、ふるさと倶楽部メンバー。力を合わせるとこんなにも簡単にできてしまい感心しきり。一つ進むと欲が出てくるもので、棟梁は垂木・横木のバラバラが気になってしかたがないようです。完成まではもうひと汗でしょうか？土被せ作業にまた皆さんの力を結集しましょう！

◆ 参考資料

『ジョーモネスクジャパン vol.16』2020年3月30日発行に佐野さんの遺跡紹介記事が掲載され、われわれが作業をしている様子も掲載されていますので参考までに。

史跡紹介

佐野 隆

縄文人に会える史跡 史跡梅之木遺跡公園

八ヶ岳と南アルプスを望む標高800メートルの丘陵にある史跡梅之木遺跡。今から5000年前の縄文時代中期の集落跡です。

2003年に発見されたとき、直径5メートルほどの円形の竪穴住居跡が150軒ほど見つかりました。5000年間、建築と廃絶を繰り返して累積した結果、これらの住居跡が残されました。住居跡はドーナツのように円を描いて並び、中心には何も無い空間があります。空間＝広場は人々が集う共同作業と祭礼の場です。

遺跡の北側に湯沢川が流れています。川のほとりから平たい石を床に敷いた「敷石住居」、石蒸調理の施設である「集石土坑」が発見されました。居住地から湯沢川に下る急斜面には、等高線に沿うようにつくられた緩やかな「道」が発見されました。日当たりのよい丘陵で暮らし、「道」を往来して湯沢川を利用した人たちの暮らしぶりがイメージできます。

発掘調査では、クリ、クルミなどドングリ類の痕跡がたくさん見つかりました。出土した土器を調べたところ、表面に何やら小さな穴がたくさんありました。この穴を型取りして観察したところ、ツルマメ（ダイズの野生種）、ヤブツルアズキ（アズキの野生種）、エゴマ、ミズキ、サンショウなど食料や香辛料にできる種実であることが分かりました。ドングリだけでなく野生のマメなども食料にしていたことが分かりました。

遺跡は現在、史跡公園になっていて見学できます。縄文集落を再現するため、市民ボランティアが竪穴住居を復元しています。石斧づくりから始めて石斧で木を伐り倒し、少しずつ竪穴住居をつくっています。梅之木遺跡にいる「縄文人」たちが作業を指導します。復元作業はどなたでも参加できます。関心のある方はお問い合わせください。

問い合わせ先：北杜市役所教育部学術課
(埋蔵文化財センター)

電話 0551-42-1375

ファックス 0551-25-2019

URL : <https://hokuto-maibun.com/>



復元された竪穴住居



2003年当時の梅之木遺跡



史跡公園の様子



市民ボランティアの復元作業